

外国人観光客に小樽の美味しいお魚を紹介するリーフレット作成プロジェクト

プロジェクト代表者: 井上 典子

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、小樽市の依頼により、本学学生の学習活動の一環として、小樽の美味しいお魚と魚料理、魚をテーマとしたイベントなどを外国人観光客にわかりやすく紹介する英語版リーフレットを作成するものである。

プロジェクトの目的として、①学生が小樽市の水産や観光担当職員、民間の関連事業者などと連携し、小樽市の古くからの主要産業である水産業への知識と理解を深めながら英語運用能力の向上を図ること。②小樽は海鮮料理が有名だが、これまで小樽のお魚にスポットを当てた外国人向けのリーフレットは作成された例がなく、食と産業の面から小樽観光の魅力について増加を続ける外国人観光客に発信することで消費効果を高めること。③学生は自分たちが作成したリーフレットが外国人観光客に使われ、小樽の観光振興に寄与することで大きな達成感を得ることができ、今後の学習意欲向上や就職活動にも良い影響を与えることが挙げられる。

2. 具体的な取組内容

2017年5月1日: 小樽市役所を訪問し、中野産業港湾部長から正式に本プロジェクトの依頼を受けるとともに、協力者と必要性、事業内容について打ち合わせを行った。

6月: 本プロジェクトに関心を持つ学生を募り、プロジェクトチームを編成し、リーダー・サブリーダーを決定するとともにプロジェクトの概要を周知した。

7月: 小樽市水産課が事務局を務める小樽のおさかな普及推進委員会の日本語チラシやホームページなどを参考にして大まかな構成を決定した。

8月～9月: 必要な現地調査を繰り返し行う。小樽運河および駅周辺にて外国人観光客に対しアンケート調査を行った。

10月: 調査内容などを整理し、協力者の監修を受けながらリーフレットに載せる内容とレイアウトの決定、日本語版の作成を開始した。同時に、小樽の魚を紹介する動画および観光客のマナーに関する英語の動画撮影を行った。

10月末: 協力者なども参加して中間発表。日本語版に対するフィードバックを頂く。

12月～: 日本語版を完成させ、英語への翻訳作業を開始。校正作業を行い、英語最終版を完成させた。平行して、動画の編集作業を行った。

2月13日: 完成品を印刷し、小樽市政記者クラブで発表を行った。完成品を市内外の観光案内所に置いてもらうとともに市外観光キャンペーンや物産展で活用してもらう予定。

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

小樽市では、全国的にもここだけという寿司屋通りがあることでも分かるように寿司など新鮮な海の幸を活かした料理や加工品が国内外からの観光客などに高い評価を得ている。しかしながら既存の観光ガイドなどは施設や景観が重視されており、海の幸について特化して紹介するツールは存在していなかった。そこで、小樽の魚にスポットを当て、小樽名産の海産物とその旬の時期のほか、料理や水産加工品、市場などについてさまざまな角度から紹介することで、より小樽観光を楽しむことができるような英語版リーフレットを作成したことで、外国人観光客の滞在時間と消費を高めることにより、経済効果を高めることが期待される。また、このリーフレットを市外での観光キャンペーンなどに使用することで、リピーターの来樽意欲の向上が期待される。学生においては、実際に小樽観光の最前線で求められている観光案内ツールを自らの手で創意工夫しながら作成したことで、単に学習効果だけではなく、職業訓練の意味でも大きな成果が期待される。さらにプロジェクト参加による社会人との交流、英語運用能力の向上などについても学生生活において得難い経験のチャンスを提供する機会となったと考える。

